

## 井川町教育委員会 1 2 月定例会会議録

1. 日 時 令和4年12月19日（月）午後1時半～午後2時45分

2. 場 所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
主事	石川知里

5. 会議

(1) 報告事項

- ・ 1 2 月定例議会について
- ・ 学校保護者アンケート結果について
- ・ 生徒の進路状況について
- ・ 部活動の入部状況について
- ・ 海外修学旅行計画の進捗状況について
- ・ 令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰の受賞について
- ・ 教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

(2) 協議事項

- ・ 部活動地域移行協議会の開催結果について
- ・ 児童生徒の学力向上の課題と手立てについて

(3) その他

6. 情報交換

## 7. 会議の経過

- 事務局長 今定例会の議事録署名員に齋藤委員、佐藤委員を提案。  
(全員提案を了承)
- 教育長 報告事項に入る。12月定例議会について事務局に説明を求め  
る。
- 事務局長 (教育委員会に関する一般質問とその回答について説明)  
教育長 続いて、学校保護者アンケート結果について事務局に説明を求め  
る。  
(学校保護者アンケート結果について説明)
- 教育長 続いて、生徒の進路状況について事務局に説明を求める。  
(現在の生徒の進路状況について説明)
- 委員 特色選抜の学力試験はあるのか。
- 教育長 ある。一般選抜と一緒に受けることになる。
- 委員 両方の選抜に願書を出すことは可能なのか。
- 事務局長 可能である。
- 委員 試験内容は一般も特色選抜も一緒なのか。
- 教育長 同じ内容のものを受けることになる。
- 委員 全ての高校に特色選抜の定員があるのか。
- 教育長 ある。定員や配点内容も公開される。
- 事務局長 (部活動の入部状況について説明)
- 教育長 次に、海外修学旅行計画の進捗状況について事務局に説明を求め  
る。
- 事務局長 (2024年5月に7年生の台湾修学旅行の実施を前提に進めて  
いる。来年の2月に町当局、教育委員会、学校で視察を行う予  
定。)
- 教育長 先日行われた7年生の学年PTAでこの件について説明をした。  
その際、保護者から「なぜ台湾でなければならないのか。」「子ども  
は東京ディズニーランドへ行きたいと言っている。」「子どもの  
希望を聞かないで無理矢理台湾に連れて行くのはどうなのか。」「  
危険地区へ連れて行くのはいかがなものか。」等の意見があっ  
た。確かに今まで子ども達に対してきちんとした説明をしてこな  
かったと感じている。これから子ども達と話をしながら意見を聞  
いて保護者へのよく説明して進めていくとPTAの場で話をして  
きた。
- 委員 子ども達の中で一度もディズニーランドに行ったことがない子も  
いるので、楽しみにしている。また、保護者の中にはせっかくの海

外旅行の機会だと捉える人もいるが、危険だと捉えている人もいる。思っただけでなかなか言えない保護者も多いようだ。先生の中にも海外修学旅行に疑問を持っている先生もいるようだ。

委員 保護者との話の中で、台湾の修学旅行に賛成だと言う人は1人もいなかった。「不安だ。」「どうして海外なのか。」とされている保護者が多かった。子どもも「怖い」と言っている中で無理矢理連れて行くのはいかがなものか。という意見もあった。子ども達に体験させたいという町の気持ちもわかるし、子ども達の中にも海外に興味がある子もいると思う。保護者と子どもにしっかり説明をして、不安を払拭してから進める方向が良いと思う。

委員 教員時代、修学旅行の行き先については学校で決め、教育委員会から行き先について言われるようなことはなかった。修学旅行の行き先を決めるのは学校が主体だと思う。なので、先生達は上の方から言われているような感じを受けているのかな、と感じる。ただ、ここ数年教育委員をやってきて、学校側が新しいことを企画したり挑戦したりするようなことがなかなか見られない気がする。子ども達が貴重な体験をできるのであれば、「やってみよう」という気持ちになってみてもいいような気がする。一番大きいところは、先生達が「やってみよう」となるか、ならないかだと思う。

委員 ここ最近台湾有事については台湾修学旅行を計画した当初と状況が変わっている。マスコミの報道のあおりもあり不安に思っている人も多いと思う。町で補助金を出して連れて行ってくれるというのはすごいことだと思う。日本と台湾の関係など歴史的なことも含めて学ぶことができるのでとても良い経験になると思う。先生達から子ども達に向けてぜひ語ってほしいと思う。

教育長 みなさんからいただいた貴重な意見を踏まえながら、町当局とも相談をしながら、子どもの教育のために進めていきたい。

教育長 次に、令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰の受賞について事務局に説明を求める。

事務局長 (10月に当表彰を受賞し、12月26日に県庁で受賞報告会が行われる。)

教育長 教育委員会・公民館・学校関係行事予定について事務局に説明を求める。

事務局長 (教育委員会・公民館・学校関係行事予定について説明。)

教育長 協議事項に入る。部活動地域移行協議会の開催結果について説明をする。

(協議会で町の方向性を説明し、概ね了承していただいた。)

委員  
事務局長  
教育長  
合同チームはどのような流れで作っているのか。  
学校同士で話し合い、それぞれの地区で了承を得るようだ。  
今後状況を見ながら子ども達へ不平等なことがないように進めていきたいと思うが、よろしいか。

全員  
教育長  
異議なし。  
次に児童生徒の学力向上の課題と手立てについて説明をする。  
(井川の子ども達の特徴、課題や今後の方向性について説明)

委員  
授業中、先生から生徒へ直線的なやりとりだけでは子どもがなかなか鍛えられない。双方向からいろいろな考えが出るような授業でないと伸びないと思う。わかる・わからないの2分化が生まれるのは、基礎中心にやっているためであることが多い。基礎をある程度やったら、発展問題で基礎をたくさん使うことによって身につく。そうすると上位層も発展問題に取り組むことができるし、下位層の基礎も身に付き、全体的に学力が上がっていく。

教育長  
引き続きこういった議論も含めながら説明した方向性で進めていくということによろしいか。

全員  
教育長  
異議なし。  
(他に無いことを確認して定例会を終了)